

香美町 ならではの 教育の挑戦

●問い合わせ先 町教育委員会こども教育課

幼稚園・認定こども園と小学校の連携

町内の幼稚園・認定こども園（以下「幼稚園など」）では、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」（※）を念頭に、幼児の自発的な活動である遊びを通して育ちや学びの発達を促しています。この育ちや学びを小学校生活へ円滑につなげるため、各幼稚園などでは校区の小学校と連携した取り組みを行っています。

※「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」とは、具体的には以下の10の姿をいいます。
 ①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現

学校生活や授業を意識した行動の取り組み （きめこまやかな指導で考える子の育成）

学校生活に必要な行動や基本的な生活リズムに慣れておくことや、落ち着いて授業を受ける準備をしておくことが大切です。
 取り組みの例として、給食を小学校と同じ時間に設定し、給食当番やエプロンの着替え、食事マナーの練習を行っています。その他、当番制による会の進行・連絡係や時間と場所を設定した掃除なども実践しています。また、正しい姿勢で座り、集中して話が聞けるよう指導しています。



▲小学校の休憩時間を利用して遊ぶ様子（令和2年度）

小学校児童との交流・連携（密な連携で幼園小が一体となった教育）



▲小学1年生と合同で取り組む演劇の様子（令和2年度）

学校行事に関心を持ち、児童とのふれあいを通して進学への意欲が高まるよう幼園小で交流を図っています。
 取り組みの例として、学習発表会の観賞や持久走大会の応援など学校行事の見学や、授業参加などの体験入学、運動会、学習発表会、持久走、書初め発表などの学校行事への参加をしています。
 また、合同での遊び、給食、演劇や特別支援学級児童との交流なども行っています。特色あるものとしては、園児手作りのお化け屋敷への招待などがあります。各幼稚園などが自分で考える子に育つよう工夫しながら交流事業を実施しています。
 その他にも、幼稚園の多くが小学校の併設園であり、合同での避難訓練や引渡し訓練の実施など密な連携を図っています。

小学校の職員との連携（共通理解でスムーズなバトンタッチ）

個々の園児の様子を小学校へつなぐため、小学校への情報提供や意見交換、合同研修、相互の授業・保育の参観、小学校職員研修会への参加などで幼稚園などと小学校の職員が連携し、共通理解を図っています。